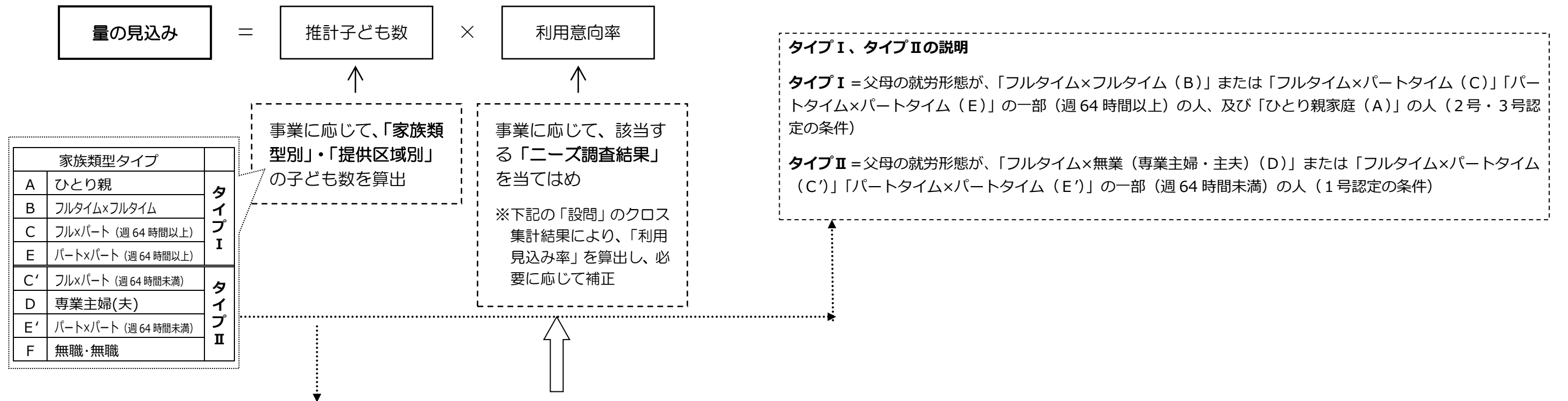


第2期栗東市子ども・子育て支援事業計画にかかる 各事業の「量の見込み」の算出について（説明用資料）

資料 2-1

■ 「量の見込み」の算出の考え方



事業	対象年齢	対象家族類型	基本となる ニーズ調査の設問	補正の有無	利用意向率の算出根拠（国の算出方式）	補正内容
① 1号認定	3~5歳	Ⅱ	就学前調査 問 15-①（利用希望）	有	平日に定期的に利用したい教育・保育事業に回答した人のうち、事業「幼稚園」にあたるものを選択した人の割合を利用意向率として算出し、家庭類型別推計児童数に掛けて算出	H29-H30の実績の利用率の変化を加味して、減少傾向で算出
② 2号認定	3~5歳	Ⅰ	就学前調査 問 14-①、②（利用状況）	有	【幼稚園利用】平日に定期的に利用している教育・保育事業に回答した人のうち、「幼稚園または幼稚園の短時部」「幼稚園または幼稚園の短時部+預かり保育」「幼稚園」「幼稚園+預かり保育」を選択した人の割合を利用意向率として算出し、家庭類型別推計児童数に掛けて算出 【保育利用】保育園または幼稚園の中時部・長時部：平日に定期的に利用している教育・保育事業に回答した人のうち、「保育園または幼稚園の中時部・長時部」、「認定こども園（保育利用）」「認可保育園」を選択した人の割合を利用意向率として算出し、家庭類型別推計児童数に掛けて算出。	現在幼稚園や幼稚園短時部を利用していて、かつ今後も幼稚園や幼稚園短時部の利用を希望する人を対象として算出
③-1 3号認定 ③-2	0歳 1~2歳	Ⅰ	就学前調査 問 15-①（利用希望）	有	平日に定期的に利用したい教育・保育事業に回答した人のうち、事業「認可保育施設」のいずれかを選択した人の割合を利用意向率として算出し、家庭類型別推計児童数に掛けて算出。 なお、上記「平日に定期的に利用したい教育・保育事業」については、0~5歳の各年齢で年齢時点で選択した教育・保育事業を採用している。	（0歳児）フルタイムの共働き世帯の利用意向率で補正 （1~2歳児）事業を選ばなかった「不明・無回答」が算出対象外となってしまうため、在宅と仮定し、補正

事業	対象年齢	対象家族類型	基本となる ニーズ調査の設問	補正の有無	利用意向率の算出根拠（国の算出方式）	補正内容
① 延長保育事業	0~5歳	I	就学前調査 問15-①（利用希望）	有	平日に定期的に利用したい教育・保育事業に回答した人のうち、事業「認可保育施設」のいずれかを選択、かつ利用希望時間で18時10分以降と記入してある場合の割合を利用意向率として算出し、家庭類型別推計児童数に掛けて算出	実績値を使用
② 一時預かり事業 （幼稚園における在園児を 対象とした一時預かり） （幼稚園在園児の2号認定による利用）	3~5歳	II I	就学前調査 問23（一時預かりの利用状況）	無	A 幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（問23） 1号認定に該当する子どもの不定期事業の利用希望割合に、不定期事業を利用している幼稚園・幼児園短時部利用者の一時預かりまたは幼稚園・幼児園短時部利用者の預かり保育の利用割合を利用意向率とし、年間の利用意向日数、家庭類型別推計児童数を掛けて算出。 B 2号認定による定期的な利用（問23） 2号認定に該当する子どもの不定期事業の利用を希望している人の年間利用意向日数と家庭類型別推計児童数を掛けて算出。	
③ 一時預かり事業 （上記以外）	0~2歳	I・II	就学前調査 問24（一時預かりの利用希望）	有	3号認定に該当する子どもの不定期事業の利用意向率に、年間利用意向日数、家庭類型別推計児童数を掛けて算出。	実績値を使用
④ 放課後児童健全育成事業	小学生	I・II	就学前調査 問26（放課後を過ごさせたい場所）	有	低学年、高学年それぞれ放課後の時間を過ごさせたい場所に回答した人のうち、「学童保育所」を選択した割合を利用意向率として算出し、家庭類型別推計児童数に掛けて算出。 なお、「第二期市町村子ども・子育て支援事業計画等における「量の見込み」の算出等の考え方」では、学年ごとの量の見込みの算出を行うこと等が追記されたが、ニーズ調査の結果から算出した値で勘案することは難しいことから、実績ベースでの推計にて対応。	実績値を使用
⑤ 地域子育て支援拠点事業	0~2歳	I・II	就学前調査 問16（地域子育て支援センター等の利用状況）	無	0~2歳児の地域子育て支援拠点事業の利用状況のうち、「地域子育て支援センター」を利用していると回答した人数と、地域子育て支援拠点事業の利用意向で、「利用していないが、今後利用したい」と回答した人の人数を回答者全体で割ったものを利用意向率とし、月当たり利用意向回数、家庭類型別推計児童数を掛けて算出。	
⑥ 子育て短期支援事業	0~5歳	I・II	就学前調査 問25-①（泊まりがけで子どもを預けたケースの対応方法）	無	泊りがけで家族以外の人にみてもらったことがあった人のうち、「短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した」「仕方なく子どもだけで留守番させた」「仕方なく子どもを同行させた」と回答した人の割合を利用意向率として算出し、家庭類型別推計児童数に掛けて算出。	
⑦ 病児・病後児保育事業	0~小学3年生	I	就学前調査 問22-①（病気やけがで保育所等を休んだケースの対応方法、病児・病後児施設の利用希望） 問33（子どもが病気になったときに面倒をみてくれる人がいない）	無	国の示す算出方法では、「仕事を休んだ時に、病児・病後児保育などを利用したいと思われますか（問22-①）」で「できれば病児病後児保育施設などを利用したい」を選択した人の割合を利用意向率として算出。今回は、「子どもが病気になったときに面倒をみてくれる人がいない（問33）」を選択した人にさらに対象を絞り込み、利用意向率に使用。	
⑧ 妊婦健康診査事業	妊婦		—（※実績等より算出）			
⑨ 乳児家庭全戸訪問事業	0歳		—（※実績等より算出）			
⑩ 養育支援訪問事業	—		—（※実績等より算出）			
新規 ファミリー・サポート・センター事業（子育て援助活動支援事業）	0~小学生	I・II	就学前調査 問26（放課後を過ごさせたい場所）	有	就学前児童の5歳児が小学校就学後に放課後の過ごさせたい場所に関する設問について、「ファミリー・サポート・センター」を選択した人の利用意向率と希望平均利用日数を家庭類型別推計児童数に掛けて算出。	就学前児童の3~5歳児が小学校就学後に放課後の過ごさせたい場所に関する設問について、「ファミリー・サポート・センター」を選択した人
⑪ 利用者支援事業	—		—（※実績等より算出）			

